

プロテインキナーゼ Cε アイソザイム ヒト、再組換え

Cat. No. NATE-0575

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 プロテインキナーゼC (PKC) は、セリン/スレオニンキナーゼであり、さまざまな活性化されたホスホリパーゼの作用を通じて、ホスファチジルイノシトール二リン酸 (PIP2) およびホスファチジルコリン (PC) からDAGを生成するシグナル伝達経路によって細胞内で活性化されます。フォールボールエステルもPKCを刺激します。少なくとも11種類のPKCアイソザイムが同定されており、これらは一次構造、組織分布、細胞内局在、細胞外シグナルへの応答、および基質特異性において異なります。アイソザイムは3つのサブファミリーに分類できます。最初のファミリーのメンバーはCa²⁺およびホスホリピッドを必要とし、PKCα、βI、βII、およびγが含まれます。第二のファミリーのメンバーはホスホリピッド依存ですがCa²⁺非依存であり、PKCδ、ε、η、およびθが含まれます。第三のファミリーのメンバーはDAGまたはフォールボールエステルによって活性化されず、PKCξ、μ、およびιが含まれます。

別名 PRKCE; プロテインキナーゼC、イプシロン; プロテインキナーゼCイプシロン型; PKCE; nPKC-イプシロン; Ca²⁺活性化リン脂質依存性セリン-スレオニンキナーゼ、εアイソザイムヒト; PKCεヒト; PKCε; EC 2.7.1.37

製品情報

種	人間
由来	バキュロウイルスに感染した昆虫細胞
形態	緩衝された水性グリセロール溶液
EC番号	EC 2.7.1.37
分子量	apparent mol wt 89-96 kDa
純度	>95% (SDS-PAGE)
緩衝液	20mM HEPES、pH 7.4の溶液; 2mM EDTA、2mM EGTA、5mM DTT、100mM NaCl、0.05% Triton X-100、50% グリセロール
代謝経路	B細胞受容体シグナル伝達経路、特定の生物系; CDC42シグナルイベント、特定の生物系; 心筋細胞におけるカルシウム調節、特定の生物系; DAGおよびIP3シグナル伝達、特定の生物系; 疾患、特定の生物系; 下流シグナル伝達、特定の生物系; ナイーブCD8 ⁺ T細胞における下流シグナル伝達、特定の生物系
機能	ATP結合; SH3ドメイン結合; アクチンモノマー結合; カルシウム非依存性プロテインキナーゼC活性; 酵素活性化因子活性; 酵素結合; エタノール結合; 金属イオン結合; ヌクレオチド結合; プロテインキナーゼC活性; プロテインキナーゼ結合; 受容体活性化因子活性; シグナル伝達因子活性
単位定義	1ユニットは、30°CでpH 7.4の条件下で1分間にPKC ε基質ペプチドに1 nmolのリン酸を転送します。

保管・発送情報

保存方法 -70°C